

# 防水技術特集

インタビュー

東北地方整備局 営繕部長 小澤 剛 氏

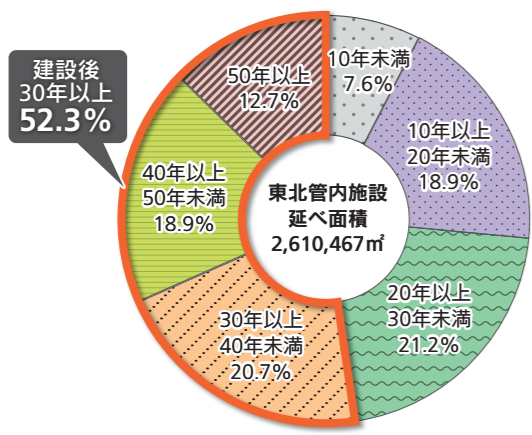
## 長寿命化へ戦略的な維持・更新を

国土交通省の調べによると東北管内の国の施設の約半数が建築後30年以上経過し、老朽化が進行している。公共施設を中心に維持・更新による長寿命化が増える中、国民の安全・安心確保などに向けて防水をはじめとする改修工事、それらを担う従事者の重要性は増している。こうした中、東北地方整備局で官庁施設の新設・更新を担う営繕部の小澤剛部長に公共建築物における長寿命化の取り組み、防水工事業者への期待などを聞いた。



### 官庁施設老朽化の現状や課題、対策を教えてください。

小澤 管内の官庁施設で、われわれが保全実施状況を把握しているのは約1,200施設です。このうち、全体の50%を超える施設が防水や外壁などの大規模改修が必要となる建築後30年以上を経過しています。必要な改修を行わずにいると、防水であれば漏水が起こり、躯体のコンクリート・鉄筋や内装材の天井を痛めたりします。さらに、部材の落下や設備の水損等に及んだ場合には重大な事故にもつながり、ひいては人命にも危険が及びかねません。このため、中長期の保全計画に基づいた計画的な対策が重要となります。官庁施設には、災害時に応急対策活動の拠点となる施設や社会経済活動を支えている施設も多く、その機能が的確に発揮されることが大切です。今後も老朽化は進行していくことが見込まれますので、既存施設の最大限の活用を図りながら、必要な整備を進めています。



| 経年別        | 延べ面積(㎡)   | 経年別        | 延べ面積(㎡) |
|------------|-----------|------------|---------|
| 10年未満      | 198,091   | 30年以上40年未満 | 540,231 |
| 10年以上20年未満 | 493,240   | 40年以上50年未満 | 492,899 |
| 20年以上30年未満 | 553,766   | 50年以上      | 332,239 |
| 計          | 2,610,467 |            |         |

▲経年別延べ面積の割合

### 営繕部の長寿命化に関する取り組みは。

小澤 営繕部の長寿命化に対する役割は2つあります。1つ目は、合同庁舎などの自ら整備を担当している施設の戦略的な維持・更新のための取り組みです。官庁施設は管内

に広域に所在していますが、一定の地域内に所在している施設群について、効率的・効果的なファシリティマネジメントを実施するという観点から、地域ごとに、官庁施設の整備構想を作成しています。その過程でそれぞれの施設の長寿命化を図るのか、または建て替えを推進していくのかを検討します。長寿命化を図る施設については、より長く安全に利用し、トータルコストの削減を実現するため、防水、外壁、受変電設備などの改修を実施することで劣化の進行を緩やかにするなど、効果的・効率的な機能維持を図っています。

2つ目は国の全施設を対象とした保全指導です。管内官庁施設の保全の実態と問題点を把握し、適切に保全することを目的として毎年度保全実態調査を展開しています。調査の結果、保全実施状況が良好でない官庁施設を把握した場合は、各省各庁に対して必要な取り組みを行うよう指導しています。保全の取り組みの中でも、定期的な法定点検はもちろん、防水をはじめとした建築物の各部位について修繕が必要となる時期と大まかな金額を盛り込んだ中長期保全計画の策定が重要と考えています。2023年度の保全実態調査の結果によると、ほとんどの施設において計画が策定・更新されており、各省庁の長寿命化への意識の高まりが確認できます。また毎年度、各省各庁や地方公共団体等の職員を対象とし、点検方法や適切な保全の実施に関する講習や、情報交換を行う「東北地区官庁施設保全連絡会議」を開催しています。今後はウェブ会議と現地開催のハイブリッド形式などで実施していきたいと考えています。

### 昨今、環境・省エネに配慮した建築も重要になってきていますね。

小澤 国土交通省では、今後予定する新築事業について、40%以上の1次エネルギー消費量を削減する「ZEB Oriented」相当以上を原則としています。30年度までには新築事業の平均で50%以上の1次エネルギー消費量を削減する「ZEB Ready」相当にすることを目標としています。今後、施設のZEB化を進めるため、屋上の断熱仕様は、建築物の省エネ性能を高める上で重要な要素になります。

官庁施設においても、防水工事等による高断熱化を進めていきます。

ZEB化に対応した設計を行うことにより、建築物の各部位のディテールの設計方法も変化しています。従来、設計基準や標準詳細図によって一律に例示されたディテールを採用していたのが、ZEB化を考慮した場合、立地する場所の気候や個々の建物の方位、平面・断面計画などによって、「どのくらいの外皮性能とすることが適切なか」ということも個別に定めることとなります。非常にきめ細かい設計が必要となりますし、建物によって仕様が異なることが出てきますので、その点を施工者の方々に注意していただきたいです。

### 防水工事に関する新技術の活用については。

小澤 現状、さまざまな防水工法がある中で、特に新築建物では、アスファルト防水が信頼性の高さなどから最も選択されている工法ではないかと認識しています。一方、火気を取り扱うことによる危険性や臭気の問題、施工にも熟練が必要とあって後継者不足も懸念されており、これらに対応するためのさまざまな工法が考案されていることは承知しています。仮に契約時点で仕様が標準的な工法となっている場合でも、受注者側の提案で同等以上の性能品質が確保される工法であれば、監督員との協議により変更可能です。最近の事業でも、既存の防水層の状況を踏まえ、より適した工法を現場で提案いただき、監督職員と協議の上で変更した事例もあります。



▲郡山労働基準監督署。環境性能は、ZEB oriented相当。

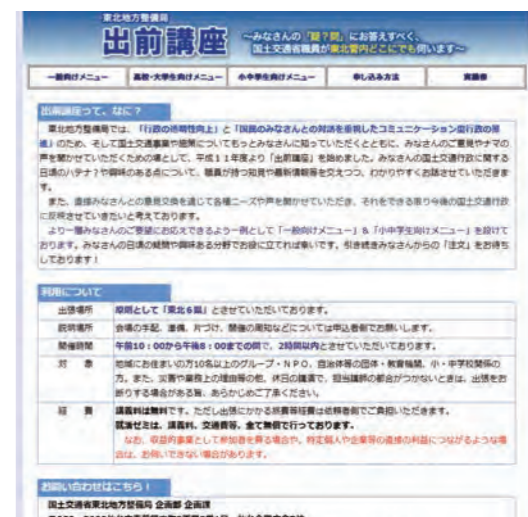
防水工事の品質確保に注意を払った優れた施工技術など、防水工事の皆さまには、採用したい技術があれば提案いただければ発注者として検討していきます。最近の社会経済情勢の変化によって建築工事に影響が出ている事象のうち、われわれが懸念しているのは資材価格や労務費の上昇です。これらの高騰は工事費の単価の上昇に直結します。一方、厳しい財政状況から予算を増額することは簡単ではないことから、官庁施設の適切な維持・更新に必要な事業量が確保できないことにもなりかねません。そういう観点では、業界の方々には生産性向上などによって、ぜひコストダウンを図れるような新技術の開発を期待しています。

### 業界の担い手確保、働き方改革も喫緊の課題となっています。

小澤 建設業の時間外労働上限規制が4月から適用されており、働き方改革は喫緊の課題であると考えています。国土交通省の営繕工事では、働き方改革を後押しする取り組みとして、工期を適切に設定するとともに週休2日促進工事を原則としてすべての工事で発注者指定により実施しています。さらに本年度からは、一部工事でこれまでの工期全体を通じての週休2日から月単位での週休2日工事として発注者指定により実施する予定です。担い手確保の観点からは、技能者の顕彰を行っており、ホームページで公表することにより防水工事業をはじめ、専門工事業を担う方々がやりがいを見いだせるよう取り組んでいます。資材価格や労務費の上昇に対しては「公共建築工事積算基準」等に基づいて最新の物価資料や見積価格等により実勢価格を的確に反映して予定価格を設定する等の取り組みを行っています。積算にはしっかりと反映していきますので、防水工事の皆さまには適正価格

受注していただき、それを原資として技術者や技能者に還元して、担い手確保につなげてほしいです。

このほか、防水工事について各種相談がある場合は公共建築相談窓口を設けているほか、出前講座も開講しています。東北地方整備局のホームページに講座名が載っていますが、ご要望に応じて内容をアレンジ可能ですので、興味があれば活用していただきたいです。



▲東北地方整備局ホームページの出前講座

### 防水工事業者に向けたメッセージをお願いします。

小澤 防水工事は施設機能を維持するために重要な事業です。防水工事業に従事される方々は地域の防災拠点を支えるためにも、今後も発注情報などを確認いただき、入札への積極的な参加と公共建築の長寿命化の取り組みへ一層のご協力をお願いします。

### ありがとうございました。

#### プロフィール

おざわ つよし 1971年10月23日生まれ。浜松市出身。1994年名古屋大学工学部卒業と同時に旧建設省関東地方建設局採用。その後、大臣官房官庁営繕部計画課企画専門官、同整備課官庁施設防災対策官、同計画課積算企画調整室長などを経て2023年4月から現職。52歳。

### 東北の防水工事産業の発展に寄与します

あたりまえの豊かさをささえる、あたりまえじゃない技術。

屋根で守り、床で支える。 **TAJIMA**

田島ルーフィング株式会社 仙台営業所 防水営業部 tel.022-261-3628  
https://tajima.jp 床材営業部 tel.022-222-6413

**三星産業株式会社**

常務取締役東北支店長 相川 浩 一

仙台市青葉区本町1-3-16  
TEL.022-262-5201 FAX.022-264-3138

防水工事・一般電気設備工事 **嶺電工業株式会社**

代表取締役 嶺岸 義雄

〒981-3133 仙台市泉区泉中央2丁目10-13  
TEL.022-375-8976 FAX.022-372-9361

アスファルト防水工法の明日を創造します。

私たちは確かな未来を見据えて、常に「地球にいいこと」を考え続けています。

**NEW 加熱型改質アスファルト塗膜防水工法 アスリード工法**

「アスリード工法」は、アスファルト防水工法の明日を率いる革新的な防水工法です。超耐久ルーフィング（アスリード）を採用し、防水専用アスファルトを高耐久・高伸長改質アスファルト塗膜防水材（アスリードコート）とすることで、「信頼性」「耐久性」を保持しつつ大幅な「施工省力化」を実現しました。

**信頼性の高い熱工法**  
●実績のあるアスファルト防水工法による信頼性。  
**施工省力化**  
●単層保護仕様や立上り塗膜工法の採用。  
●端末はビス穴を開けることなく塗膜+メッシュ納めが可能。

**日新工業株式会社** https://www.nishinkogyo.co.jp/ 営業課 電話 0120-0025 東京都墨田区千住東2-23-4 TEL.03-3882-2571 FAX.03-3881-8545

**日本アスファルト防水工業協同組合** https://www.nihon-as.or.jp/ 事務局 〒126-0025 東京都墨田区千住東2-23-4 2階(2層)内 TEL.03-6806-2868 FAX.03-6809-2867

# 各防水団体トップインタビュー

一般社団法人全国防水工事業協会東北支部

## 今を向上させ、次をつくる

支部長 宍田 利成



### 2023年度の活動状況

昨年度は全般の経済活動が従前のように活発化し、当協会においても各種会議・研修事業等、多岐にわたる活動を展開することができました。特に次世代経営者・継承予定者などの若手を対象とした研修会では「働き方改革」を題材とし、これを通じて参加者の労務管理や現行法令への理解深化の場を形成することができ、「次をつくる活動」を継続して実施しております。また、5年ぶりに東北地方整備局さまとの意見交換会が再開でき、現下の諸問題や専門工事業者が抱える実情について生の声をお届けし

ながら、「今を向上させる」意見交換を図ることができました。

### 環境に配慮した取り組み、技術力向上のための取り組みなど積極的に取り組んでいること

環境配慮、あるいは人材不足における省力化+品質向上を目指した材料・工法の開発は各材料メーカーによって果敢に取り組まれ、成果が見られております。こうした成果、情報をいかにして協会員へ展開し、各地においてそれを取り入れながら現実の「形」とするか、この点において情報提供を積極的に行っておりますし、さらに加

速させていかなければなりません。また、会員募集時における参加会員とメーカーの直接の接点を多く設け、活発な意見交換を通じて次へ向けたアイデアを浮かび上がらせるような場を醸成することを常に念頭に置いて活動設定しております。

### 建設業界へのメッセージ

各地における紛争や円安は資材価格を高騰させておりますし、人手不足の中における政府主導の賃上げ・働き方改革は労務単価の上昇や運送コスト上昇を招き、工事原価が「下がる」要

素は見当たりません。また、これら高騰が受注単価に反映されているかと言えばそうではなく、むしろ総物件量の減少の中で身を削る価格競争に熱を帯びてくる事例も見られてきました。全く出口の見えぬ現況ではありますが、「声」は一企業単体ではなく、「業界団体」という束で上げてこそオーソライズされ耳を傾けていただける、だからこそ当協会はこれからも声を発信し続け、同時に、単体で成しえぬ情報収集や研修の場をより多く設けることにより、防水業界全体の改善、向上と前進を図って参りたいと考えております。

東西アスファルト事業協同組合東北地区

## 施工技術や提案力の向上を

理事 野口 久榮



### 2023年度の活動状況

2023年度は「長寿命・高耐久・環境配慮」をテーマに掲げ、これらの実現に貢献する最新の防水工法「FRAT仕上げ・プライムアス工法・レイヤール工法」の3本柱を軸とした普及啓蒙活動と、組合員の技術力向上への取り組みを積極的に進めて参りました。また、電気式溶融釜ACSの配備数を増強することで、組合員による温度管理型施工と省力化を促進致しました。

### 環境に配慮した取り組み、技術力向上のための取り組みなど積極的に取り組んでいること

カーボンニュートラルへの取り組みは建設業全体として取り組むべき最重要課題であると捉えています。当組合は、防水層の高耐久化とコンクリートの減量化が建物のライフサイクルCO<sub>2</sub>の削減に貢献するという考えから、保護コンクリート仕上げに代わる第三の選択肢である高耐久非砂付仕上げ「FRAT仕上げ」の提案に力を入れて

おります。また、組合の根幹である人材育成にも力を入れており、技能員および管理者向けの養成所や、施工技術や提案力の向上を目的とした研修会の開催を継続して取り組んでおります。

### 建設業界へのメッセージ

4月から本格適用された時間外労働時間の上限規制により、防水工事においてもこれまで以上に工程管理の精度や施工の効率化が求められることとなります。また、環境負荷低減と持続可

能な社会の形成に向けた取り組みも、官民を問わずより一層加速しているものと認識しております。

当組合はこれらの諸課題に早くから着目し、高耐久化や省力化、環境負荷の低減に貢献する新工法の開発や技術の研鑽に努めて参りました。変化する時代の期待に応えながら、今後も確かな防水品質の提供を続けて参ります。

東北防水改修工事協同組合

## 技能検定受験者を対象とした防水アカデミー開催

理事長 田村 哲朗



### 2023年度の活動状況

2023年度は5月に新型コロナウイルス感染症の分類が季節性インフルエンザと同じ「5類」へ移行され、国内外の人流が活発化したことにより、個人消費やインバウンド需要は回復を見せました。しかしながら建設業界においては継続した課題である技能員の高齢化、人手不足や建設資材価格の高騰などの影響によって、まだまだ景気回復とは言えない1年でした。そのよう

な状況下、当組合では南東北、北東北にて地区会を開催し、組合員相互のさらなる親睦強化と防水改修セミナーを通じたSDGsに貢献する環境に配慮した付加価値工法の積極的な普及啓蒙に取り組むことができました。

### 環境に配慮した取り組み、技術力向上のための取り組みなど積極的に取り組んでいること

例年好評をいただいております官公庁、設計事務所など建築防水に係る方々を対象とした、最新の防水技術や高付加価値工法をご紹介するセミナー、施工デモンストレーションを積極的に開催しております。また組合員の人材育成を目的とした、技能検定受験者を対象とした防水アカデミーなども企画開催しております。

### 建設業界へのメッセージ

省エネ化を実現する高付加価値防水改修工法の提案やプロフェッショナルな施工技術により、これからの建設業界の発展に寄与していきたいと思っております。また環境に配慮した防水施工を徹底し、安全かつ信頼性の高い防水工事で業界の新しい未来を築いていきたいと考えています。

日本アスファルト防水工業協同組合 関東支部東北地区

## 防水技術養成校で人材育成

斎藤 祐治



### 2023年度の活動状況

設立60周年を迎えた当組合の活動におきましては、新型コロナウイルスが5類感染症に移行したことに伴い、事業活動はほぼ正常な状態に戻り、記念総会となる通常総会は記念式典とともに通常総会を開催したほか、日本アス・日新防水技術者養成校を開校し、研究部会連合会も博多で開催することができました。この1年間は、ほぼ正常な組合運営ができるようになったことを

実感し、事業を遂行することができましたことを改めて感謝を申し上げます。

### 技術力向上のための取り組み

日本アス仕様には、加熱溶融型改質アスファルト塗膜防水材を採用し、より耐久性の向上を実現させた「アスリード工法」と露出改質アスファルト防水において意匠性を向上させた「アスフィン工法 熱工法」を新たにラインナップしました。

各支部において仕様説明会を開催し普及に努めました。これまで以上に環境に配慮した工法や建物の長寿命化に対応した工法の啓蒙・普及を進めてまいります。また、昨年に続き日本アス・日新防水技術者養成校を開校し人材育成には可能な限り取り組んで参ります。

### 今後の見通し

大都市圏の大型プロジェクト・大阪万博・大

型半導体工場建設等の案件が動き始めていますが、2024年問題により人材を確保することが難しく、人手不足、資材高騰が相まって、公共工事の不調や受注手控え、建設費の高騰といった深刻な状況が続くことが予想されます。加えて、エネルギーや配送運賃、原材料が急騰し、それらに連動した防水材料の改定価格が市場に浸透しているとは言い難く、今後の利益確保に向けた活動にこれまで以上に力を注ぎ続けなければならないでしょう。

## 東西アスファルト事業協同組合

東西アスファルト事業協同組合ホームページ <https://www.tozai-as.or.jp/>

### 組合員

- 【青森】 青建防水工業 ☎0177-88-4343
- 【岩手】 アンクス ☎019-662-5354
- 【秋田】 環清工業 ☎0183-72-0038
- 東和 ☎018-864-4561
- 【山形】 イトウ防水工業 ☎0238-23-8321
- 山建工業 ☎023-633-3003
- 【福島】 田村建材 ☎0246-26-3121
- 福島防水 ☎024-963-1230
- 【宮城】 東興アイテック株式会社 ☎022-287-3410
- 【宮城】 東江防水 ☎022-285-1191
- 東北ケミカル工業 ☎022-229-2887
- 中村瀝青工業株式会社 ☎022-249-7021
- 三星産業株式会社 ☎022-262-5201
- 嶺電工業 ☎022-375-8976

### 指定工事店

- 【岩手】 北星建設 ☎019-637-5611
- 【宮城】 菅原防水工業 ☎022-358-4486

事務局 田島ルーフィング株式会社 ☎980-0021 宮城県仙台市青葉区中央1-6-35 TEL.022-261-3628 FAX.022-225-1567 <https://www.tajima.jp/>

## 防水改修工事のプロフェッショナル集団

東北防水改修工事協同組合 田島ルーフィング株式会社

〒980-0021 仙台市青葉区中央1丁目6-35 東京建物仙台ビル6階 Tel.022-261-3628 Fax.022-225-1567 URL=<http://www.tohoku-bousui.com/> URL=<http://www.tajima.jp/>

### 東北防水改修工事協同組合会員

- 【青森県】 青建防水工業 ☎0177-88-4343
- 【青森県】 東興防水工業 ☎0178-41-2700
- 【青森県】 大創工業 ☎0178-47-9710
- 【岩手県】 荒谷工業 ☎019-688-5627
- 【岩手県】 アンクス ☎019-662-5354
- 【岩手県】 奥羽工業 ☎019-624-6333
- 【岩手県】 奥友防水工業 ☎019-646-4019
- 【岩手県】 北星建設 ☎0191-46-4178
- 【岩手県】 北星建設 ☎019-637-5611
- 【岩手県】 マルエ工業 ☎019-639-0411
- 【宮城県】 森川防水工業 ☎0186-62-4186
- 【宮城県】 アサヒトラスト ☎022-352-4701
- 【宮城県】 イガラシ工業 ☎022-281-9241
- 【宮城県】 エーツ ☎022-393-7066
- 【宮城県】 タカイ工業 ☎022-386-2728
- 【宮城県】 菅原防水工業 ☎022-777-7668
- 【宮城県】 ケー・アイ工業 ☎022-725-2907
- 【宮城県】 東興アイテック株式会社 ☎022-287-3410
- 【宮城県】 東江防水 ☎022-285-1191
- 【宮城県】 トーゴウリホーム ☎022-287-2715
- 【宮城県】 東北ケミカル工業 ☎022-229-2887
- 【宮城県】 中村瀝青工業株式会社 ☎022-249-7021
- 【宮城県】 日新商事 ☎022-295-9895
- 【宮城県】 ベストハウス ☎022-382-2751
- 【宮城県】 三星産業株式会社 ☎022-262-5201
- 【福島県】 嶺電工業 ☎022-375-8976
- 【山形県】 山田防水工業 ☎0224-54-1302
- 【山形県】 イトウ防水工業 ☎0238-23-8321
- 【山形県】 奥羽建設 ☎0235-24-2180
- 【山形県】 山建工業 ☎023-633-3003
- 【福島県】 エビス総合企画 ☎0244-38-7472
- 【福島県】 佐久間防水工業 ☎024-923-4229
- 【福島県】 田村建材 ☎0246-26-3121
- 【福島県】 坪井防水工業 ☎024-991-0507
- 【福島県】 日東物産 ☎024-546-2288
- 【福島県】 福島防水 ☎024-963-1230
- 【福島県】 山崎工業 ☎0246-29-1255

# 防水工事団体トップに聞く

青森県防水工事業協会

## 他団体との意見交換

会長 大久保 英樹



### 2023年度の活動状況

昨年度の活動として、防水施工技能士実技試験・トライアルの実施(年/2回)運営を核とし協会活動を実施しました。  
 その中では、新たに、青森県シーリング協会との意見交換会を開催し、次世代に向けてのさまざまな話し合いをすることができました。

また、第25回総会記念事業がコロナの影響により延期していたため、昨年、記念事業を開催することができました。  
 久しぶりに協会会員間での相互の交流が図れたことは、大変喜ばしく、現在は、今後の第30回総会記念事業に向けての準備を進めているところであります。

### 建設業へのメッセージ

本年4月1日より働き方改革関連法により物流業界にも変革がなされており、防水材料運搬のための運賃上昇・納期の変更等が動き出しているため、われわれを取り巻く環境も変化し続けてきているので柔軟な対応が求められてきています。  
 そこで本年、岸田内閣総理大臣施政方針演説

にもありましたが、賃上げ原資を確保するため国が率先して、個々の工事の下請契約等が行われることを促す法案を提出し、物価高を上回る所得を実現する旨を申し立てましたので、そのことに期待し直近上位者との請負契約に反映されればと思います。  
 最後に増やすことが難しい人材の確保においては、現人材でやりくりしながら、協会間での横のつながりを密にし、今後の変化していく時代を生き抜いていければと思います。

岩手県防水工事業協同組合

## 魅力のある防水工事業づくりに注力

理事長 三上 誠



### 2023年度の活動状況

昨年度は新型コロナウイルス感染症の分類5類移行により本格的な人流が復活し、経済活動が正常化した一年となりました。しかしながら防水業界を取り巻く環境は大変厳しく、あらゆる面において問題は山積してあります。ネガティブな要素ばかりが先に立ち、閉塞感漂う今日ではありますが、当組合といたしまして

は、技能検定準備講習会や検定実技試験の実施を通じた技能者育成や入札制度の維持継続をはじめとした育成・経営維持等の環境改善へ向け、昨年度も各種活動を展開させていただきました。

### 若手技術者の人材育成・教育、人材確保のための取り組み

入職希望者は減少し、離職者も発生するという人材難の中、人材育成への取り組みは当組合に

とって最も重要な課題です。人材育成や雇用継続には、「いかにやりがい、生きがいを感じて生業としてもらうか」という要素が必要不可欠であり、私共はこのやりがい・生きがいづくりを「社会的地位向上」という目標とし、社会的地位とそれに見合った技術力の向上を並行して進めることが人材育成であるとして教育に取り組んでおります。今後も魅力ある防水工事業づくりに今後も注力して参ります。

### 建設業界へのメッセージ

休日増加、資材価格、輸送コスト、労務単価等、あらゆる上昇が工事原価を押し上げていますが、この原価上昇が受注単価に反映され切っていないという歪みが多く見られております。こうした問題の解決には企業単体ではなく、業界団体として取り組んでこそ始まる議論があり、本年度も組合という組織の存在を十分に活かした活動展開により、県内防水業界発展の一助になりたいと考えております。

宮城県防水工事業協会

## おてんとうさまの下で働くこと

代表 浅野目 孝之



老生が防水業に携わったのは齢31の時です。ご縁を頂いてから40年の長きにわたり生業としてきました。「土方を殺すにゃ刃物はいらぬ 雨の3日も降ればよい」との俗語があります。さすがに今ではあり得ないことですが「防水屋を殺すにゃ刃物はいらぬ 雨の3日も降ればよい」は今でもあり得ると感じているところです。  
 防水業が特に忙しいのは年末から年度末にかけてですが、それは公共事業の完成時期が年度末

に過度に集中することが理由です。自治体や地方公共団体の単年度会計では、新年度予算が成立してから入札・契約手続きとなるため、年度当初の工事は希薄です。夏が近づくと、工事は多くなりますが、間もなく入梅です。この時期は晴れを待ち、塗装の乾燥を待ちながら作業を進めることとなります。そして夏を迎え、灼熱の炎天下での作業。夏の終わりごろには秋雨前線による長雨、台風の襲来を受けるため、どうしても仕上げ

が粗面となります。材料と労務費を掛けてやり直すことが多くなり、コストがかさみます。秋は急速に日が暮れるため労働時間も短くなります。晩秋には霜が降り、寒さとともに作業効率が落ちます。やがて雪が降ります。季節や天候の影響を多大に受け、3Kとも5Kとも言われるような専門業者に就職を希望する若者は稀ではと感じています。  
 ただ、風を直接肌で感じられ、すがすがしい気持ちになります。おてんとうさまの下で働くことがで

きる充実感を得ることができます。通り過ぎる輩に後ろ指を指されても、地球の鼓動を感じながらできる仕事なのです。これがわれわれの誇りです。  
 弊社に限らず変動型カレンダーを作成していることと思います。労働時間を週40時間以下とし、国民の休日と合わせると年間約110日程度が休みとなります。他に有給休暇、天候の不順による休みが加わり、働ける日数が限られてきます。このため、綿密な作業計画を立て、天候を考慮してスケジュールを調整することが重要なのです。関係各位のご理解をお願いいたします。

山形県防水工事組合

## 業界の地位向上

組合長 伊藤 善一



### 時代の流れに適切に対応

本年度より組合長に就任いたしました。よろしくお願いたします。さて、建設業界の近況は、昨年度も資材の高騰が続き労務費も年々上昇しております。原価上昇分を受注価格に転嫁できるよう組合員や各メーカーさまの協力を得ながら、適正価格を検討し合い、受注価格のアップにつなげたいと思っております。  
 2024年問題では、運送業・建設業における労働

時間の規制、4週8休による労務費の改革、SDGsなど、新たに取り組むべきことが山積しております。完全週休2日を望む方、土曜日は働いて収入を得たい方、さまざまです。少しずつではありますが改革に手を入れていく必要があると考えているところです。

### 人材育成のための取り組み

毎年実施している技能検定トライアルは、人材育成のためには重要な取り組みの一つであると

思っています。また、材料メーカーさまによる講習会なども組合員と共に実施したいと考えています。  
 技能者の皆さまが「心身ともに健康で働ける」職場、そして「風通しの良い」職場環境が働きがいにつながります。待遇改善を含め課題解決には適正な収益を上げられる事業所であることが必要不可欠な要素ではないでしょうか。組合員が力を合わせて達成できれば、業界の地位向上はもちろん、人材育成にもつながるのではないのでしょうか。

### 建設業界へのメッセージ

昨今、建設業界全体で人手不足が騒がれております。各材料メーカーさまも新商品開発により長寿命化に対応でき、施工性もよく、人手不足を補える商品を打ち出しておりますが、防水工事組合もプロフェッショナル集団として、これからも努力を続けてまいります。工期についても適正な工期のもと、高品質で安全・安心な防水工事を提供してまいりたいと考えています。

福島県総合防水工事業協同組合

## 明日を担う「技能士」を育成

代表理事 金澤 正夫



### 2023年度の活動状況

当組合は創立以来、防水工事保証および技術と信頼に基づく責任施工体制を柱として、厚生労働省の技能士資格取得等による技能向上に加え、材料提供メーカーとの連携により、多くの実績を築いております。  
 昨年度は、組合相互扶助の精神に基づき、組合員利益のため共同購買や共同受注などの事業を積極的に推進したほか、福島県職業能力開発協

会からの委嘱で技能検定を実施し、業界の明日を担う「技能士」の育成に積極的に関与しています。

### 若手技術者の人材育成・教育、人材確保のための取り組み

言うまでもなく防水工事は、建築物の耐久性向上で重要な役割を担っており、施工技術の向上と次世代への継承は必要不可欠です。  
 建物の老朽化に加え、近年頻発する線状降水帯や地震など自然災害により、かつてないほど防水工事の需要が高まっていますが、高度な技術力

が必要とされる防水工事業界において、技術の継承と若手技術者の育成が喫緊の課題となっております。  
 当組合では毎年、前期と後期の技能検定直前に防水技能講習会を開催しています。受験者が講師の技術指導を受けながら、実技試験同様の課題に取り組む貴重な機会でも、毎年多くの1級、2級合格者が誕生しています。

### 今後の見通し

歴史的な円安はとどまるどころを知らず、本年度についても不安定な世界情勢などに起因する資材価格の高騰が続くものと予想されます。持続可能な業界として発展していくためには、工法開発や省力化によるコスト削減が不可欠で、加えて環境への配慮も必要です。  
 当組合では、今後も建築物の劣化チェック、改修計画の立案、見積、そして実際の施工から万全のアフターケアまで、業界トップレベルの製品と技術力で遂行していきます。

◆構造物の総合防水 塗装・改修工事  
**郡山シーリング株式会社**  
 取締役会長 金澤 正夫  
 代表取締役 金澤 尚也  
 〒963-8071 福島県郡山市富久山町久保田字宮田100番地  
 TEL.024-953-4141 FAX.024-943-1322  
 E-Mail:info@k-sealing.co.jp

**有限会社松本防水工業**  
 代表取締役 松本 健一  
 〒963-4435 福島県田村市船引町大倉上上大倉115番地  
 TEL.0247-61-6866 FAX.0247-61-6876

総合防水工事のエキスパート  
**福島防水** SUSTAINABLE GOALS  
 社業の防水工事。高い技術力とCO<sub>2</sub>排出量削減効果のある断熱・遮熱の工法で耐久性のある建築物を実現し、住み続けられるまちづくりに寄与しています。  
 〒963-0547 郡山市富久山町2丁目26-1  
 代表取締役 鎌谷 雅俊 TEL.024-963-1230 FAX.024-963-1239

**有限会社 森川防水工業**  
 代表取締役 森川 和義  
 秋田県北秋田市大町1-15-7  
 TEL.FAX.0186-62-4186  
 morikawa9421@m8.dion.ne.jp

**有限会社 環清工業**  
 代表取締役 伊藤 稔  
 秋田県湯沢市字祝田145-7  
 TEL.0183-72-0038 FAX.0183-73-3319  
 minoru@yutopia.or.jp

各種建築専門工事業  
 築くこと、すべてに感動品質を—  
**田村建材株式会社**  
 代表取締役 田村 哲朗  
 福島県いわき市内都賀町金1番地の7 TEL.0246(26)3121(代)  
 支店/郡山 営業所/福島・白河・東京

各種防水・塗装・左官  
**有限会社 備研**  
 代表取締役 石井 良行  
 〒999-7631 山形県鶴岡市八色木字西野337-3  
 TEL.0235-64-5799 FAX.0235-64-5793  
 HP https://bikentsu.wp-x.jp

—うらおいの未来へ、これからの建築をクリエイト—  
**トーエイ工業株式会社**  
 代表取締役 伊藤 善一  
 〒990-2351 山形市鑄物町42番地(山形西部工業団地)  
 TEL.023-643-6622 FAX.023-643-6624  
 HP http://www.toeik.com E-mail info@toeik.com

山形県知事許可(般-5)第701597号  
**株式会社 高輝工業**  
 代表取締役 高橋 直幹  
 本社 〒997-1321 山形県東田川郡三川町大字押切新田字五反98-1  
 TEL.0235-68-1816 FAX.0235-68-1817  
 庄内 〒999-7781 山形県東田川郡内郷余目字三入谷地212-4  
 TEL.0234-28-8606 FAX.0234-28-8607  
 仙台 〒984-0037 宮城県仙台市若林区蒲町東9-2  
 TEL.022-357-0719 FAX.022-357-0818

改修(建築・土木)総合仕上工事業  
 塗装工事/防水工事/防食工事/溶射工事  
 アスベスト処理工事/コンクリート補修工事  
**株式会社 ナカムラ**  
 〒997-0802 山形県東田川郡新田字五反10  
 TEL.0235-68-1816 FAX.0235-68-1817  
 〒990-2351 山形市鑄物町42番地 TEL.023-643-6622 FAX.023-643-6624  
 〒984-0037 宮城県仙台市若林区蒲町東9-2 TEL.022-357-0719 FAX.022-357-0818

## 高耐久防水技術でカーボンニュートラル

驚異的な伸び性能の新アスファルト防水×超軽量FRAT仕上げで、屋上に保護コンクリートを打設することなく高耐久を実現。躯体に関わるCO<sub>2</sub>排出量をさらに効果的に削減できます。

加熱型改質アス塗膜防水工法  
プライムアス工法

# Prime-AS

強力フラットフェース

コンクリート  
打設量減  
DOWN

超軽量高耐久仕上げ

# FRAT

Fiber Reinforced Acrylic resin Treatment

↑ UP  
長期の  
耐久性

東西アスファルト事業協同組合 <https://www.tozai-as.or.jp>

## サーモコントロール断熱で カーボンニュートラル

直射日光を受ける屋上面から断熱・遮熱性能を効果的に付加できる外断熱工法。断熱性能の良い建物は空調負荷が小さく、CO<sub>2</sub>排出量の抑制に寄与します。

「断熱」

熱を伝えにくく  
する機能

+

「遮熱」

光を反射して熱量を  
軽減する機能

=

サーモ  
コントロール  
断熱

サーモコントロール断熱改修のメリット

断熱材が熱伝導を妨げ 高い省エネ効果

ふく射熱の発生を防ぎ高温による 防水層の劣化進行を抑制

温度変化によるコンクリートの伸縮を抑制し 建物の長寿命化に寄与

東北防水改修工事協同組合 <https://www.tohoku-bousui.com>

## 防水セミナーの様子



## 防水から見える “未来の形”

Cool Choice!

### クリーンアスNEO工法

室内専用常温アスファルト防水

1液の常温改質アスファルトと改質アスファルトルーフィングを組み合わせた、常温アスファルト防水です。[E-1] [E-2] 工法で技術審査証明を取得しております。

特定化学物質：ゼロ

有機溶剤：ゼロ

施工時CO<sub>2</sub>排出量：ゼロ

施工時の臭い・煙：ゼロ

総合防水材料メーカー **日新工業株式会社** 営業統括部 〒120-0025 東京都足立区千住東2-23-4  
TEL: 03-3882-2571 FAX: 03-3881-8545 <https://www.nisshinkogyo.co.jp/> クリーンアスNEO 検索

東北の  
防水工事産業の発展に  
寄与します

Total interior & Waterproof design

**株式会社 東和**

代表取締役 野口 久榮

〒010-0921 秋田市大町2丁目7番26号  
TEL.018-864-4561(代) FAX.018-864-4564

株式会社 **青建防水工業**

代表取締役 木村 義知

本社 青森市大字新城山田675番27号  
電話(代表) 017-788-4343  
FAX 017-788-4480  
E-mail: aoken@k.purea-web.net  
仙台営業所・八戸出張所・むつ出張所

(一社)全国防水工事業協会  
建築防水・躯体防水・床版防水

**株式会社 テクニ中央**

代表取締役 寺沢 学

青森県八戸市新井田字重地下51-12  
TEL.0178-25-6789 FAX.0178-25-0405

・土木・建築防水・内外塗装・吹付工事  
**イトウ防水工業株式会社**

代表取締役 伊藤 貴博

〒992-0038 山形県米沢市城南3丁目3番10号  
TEL.0238-23-8321(代) FAX.0238-24-4759  
E-mail: bousui-i@ms3.omn.ne.jp

調査・診断から提案・計画・施工  
総合防水工事

**マルエス工業株式会社**

代表取締役 宍田 利成

〒020-0846 盛岡市流通センター北1-10-11  
TEL.019-639-0411 FAX.019-639-1137  
<https://www.maruesu.info/> E-mail: main@maruesu.info

日本バンデックス株式会社はコンクリート躯体処理工法のプロフェッショナルです。 **Vandex**

## 下水処理施設 防水・防食のエース!!

■バンデックスBZシステム(無機質系耐酸防水防食材)

特長

- 無機質系及び無溶剤系の材料を使用する「環境にやさしい」工法です。
- 下地が違っても施工が可能であり、新設はもちろん補修・改修工事にもご採用いただけます。
- 塗布工程が少ないので工期の短縮が可能です。
- 有機酸対応のトップコートを使用する事で、下水道施設のみならず、厨房排水槽等への施工も可能です。

バンデックスBZシステムは耐硫酸塩性と防水性を有する革新的複合塗膜防水工法です。BB75ZとPK75を混合し塗布する工法(BZ-B工法)は伸縮性に優れた塗膜を有します。BZ-A21法、BZ-B21法、BZ-C21法、BZ-D21法、BZ-E21法(H9年版)

バンデックスEZシステム(日本下水道事業団 下水道コンクリート防食技術指針に準拠) コンクリートの耐久性と保護に優れ、「下水道コンクリートの構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル」の品質規格に適合したコンクリート防食工法です。

バンデックスVZシステム(日本下水道事業団 コンクリート防食技術指針に準拠) ビニルエステル樹脂使用の耐硫酸性・耐アルカリ性・耐水性に優れた信頼性を誇る工法です。

また、硫化水素の発生するコンクリート構造物の防食抑制、保守保全が実現できます。

**日本バンデックス株式会社** バンデックス防水工業会 南 燗ケミカル TEL.019(648)1675

■本社 〒168-0074 東京都杉並区上高井戸一丁目2番9号 南 燗ケミカル TEL.019(648)1675  
TEL.03(6379)6581 FAX.03(6379)6541 <http://vandex.jp> 北 沼津工業 TEL.022(236)6768  
東京支店 TEL.03(375)5656 中 外高井戸支店 TEL.022(229)2887  
大阪支店 TEL.022(229)2887 山 田村工業 TEL.0246(26)3121  
青森支店 TEL.018(834)4020 山 建工業 TEL.023(633)3003  
奥羽工業 TEL.019(624)6333 イトウ防水工業 TEL.0238(23)8321